

小学校第3学年音楽科学習指導案

指導者 山口 晴子

1 題材名

ふしのとくちょうをかんじとろう

2 題材の目標

歌詞の内容や旋律の特徴を生かした歌唱表現の仕方を工夫し、思いや意図をもって歌う。

3 主な〔共通事項〕

ア (1) 歌詞と旋律、強弱 (f, p, mf, mp)

4 題材設定の意図

小学校学習指導要領解説編（平成20年8月文部科学省）（以下、解説と示す）の「内容の取扱いと指導上の配慮事項」（3）のイでは、「歌唱教材については、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡などの日本のうたを含めて取り上げるようにすること。」とある。また、指導要領の改訂に伴い、総説では、思考力・判断力・表現力の育成が盛り込まれているが、解説の第3学年及び第4学年の目標と内容A表現のイでは、「歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。」とある。

児童自身が思いや意図をもって試行錯誤しながら曲想にあった表現を工夫することが重要であり、一つ一つの言葉の意味するところや歌詞全体の内容を把握したり、曲想や音楽を形づくっている要素の働きを感じ取ったりしながら、それを基に楽曲の特徴に合った歌い方を工夫し、思いや意図をもって歌えるようにする力を付けることが大切であると考えます。

これらのことから、長い間親しまれてきた唱歌である共通教材「ふじ山」を通して、歌詞の内容や旋律の特徴を生かした歌唱表現の仕方を工夫し、思いや意図をもって歌うことができるようにさせたい。

5 教材について

第3学年共通教材「ふじ山」

本教材は、歌詞の意味を理解して歌うことで広がりのある堂々とした感じの曲想を味わえる。また、曲の中盤では旋律が次第に高まり、曲の山場を作っている。これらのことから、歌詞と旋律のかかわり合いによる表現効果を感じ取ることができる作品である。

そこで、本教材を通して歌詞の内容や旋律の特徴を生かした歌唱表現の仕方を工夫すれば、曲想にふさわしい表現を工夫することができるようになるであろうと考えた。

6 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア音楽への関心・意欲・態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能
歌唱	○	○	○
器楽			
創作			
鑑賞			
題材の評価規準	長い間親しまれてきた歌に関心を深め、曲想を生かして歌うことに意欲的である。	歌詞の内容や旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫を工夫している。	歌詞の様子を思い浮かべたり、旋律の特徴を生かして想像豊かに歌っている。
学習活動における具体的評価規準	①写真やふじ山について知ったことをもとに、様子を思い浮かべて歌うことに意欲的である。	①ワークシートや体を動かす活動、グループ発表において、歌詞の表す情景を想像したり、歌詞の意味や旋律の特徴を感じ取り、曲想にふさわしい表現の工夫を工夫している。	①曲想にふさわしい表現を全体で話し合う活動を通して、曲想にあった表現を工夫して、歌っている。

7 学習と評価の計画（3時間扱い）

次	ねらい	主な学習活動	具体的評価規準
第1次	写真やふじ山について知ったことをもとに、様子を思い浮かべて歌おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじ山の写真や歌詞の意味にふれることを通してふじ山の様子を思い浮かべる。 ・範唱に合わせて歌う。 ・4分の4拍子で指揮を振りながら歌う。 	アー①
第2次 (本時)	曲想にふさわしい表現の工夫を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで表現の工夫の工夫を考える。 ・グループごとに表現の工夫とその理由について発表する。 ・表現の工夫をした部分をグループ全員が指揮で振る活動を通して、その工夫をみんなに伝える。 	イー①
第3次	工夫した表現を生かして歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの工夫点を振り返り、曲想にふさわしい表現を全体で話し合いながらクラスの「ふじ山」として斉唱する。 	ウー①

8 本時の学習

(1) ねらい

歌詞の表す情景を想像したり、歌詞の意味や旋律の特徴を感じ取り、曲想にふさわしい表現の工夫をする。

(2) 準備・資料

ふじ山の写真，拡大楽譜，音楽ポケット，なのでポケット，ワークシート，指示棒

(3) 学習の展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ (㊦学習活動における具体的評価規準)
1 「ふじ山」を歌う。 2 本時の課題を知る。	・歌詞の中にある言葉の意味について再度確認する。 ・前時の「ふじ山」の情景を思い浮かべながら，歌うように指示する。その際，イメージしやすいように写真を掲示しておく。 ・学習の流れについて説明する。
指揮者になって、「ふじ山」らしい歌い方を工夫しよう。	
3 表現の工夫の仕方について話し合う。 (1) 一番，表現を工夫したい部分に付箋を貼る。 (2) 付箋が貼られた部分を確認し，グループごとに表現を工夫する。	・配付された付箋に，表現を工夫したい箇所と表現方法，その理由を書き，拡大楽譜に貼るよう指示する。 ・付箋が多く貼られた部分を確認し，表現する箇所に見通しをもたせる。 ・「音楽ポケット」を活用し，どのように表現を工夫すれば「ふじ山」らしくなるか考えるよう指示する。あわせて，「なのでポケット」も活用し，表現を工夫した理由についても考えられるよう助言する。 ・机間指導し，グループごとに意見をまとめられるよう助言する。
4 表現の工夫をグループごとに発表する。 (1) 説明者Ⅰは，表現を工夫した点とその理由について説明する。 (2) 説明者Ⅱは，指示棒を使いながら拡大譜を示す。 (3) 指揮者の合図で全員で斉唱する。 (4) 他のグループの児童は，表現の仕方や歌った感想について意見を述べる。	・各グループが表現を工夫した箇所と表現方法，その理由について発表させ，その意見を整理しながら板書する。 ・各グループが表現を工夫した部分を取り出し，全体で斉唱することを通して，表現を工夫したことがどんな効果を生んだか考えさせたい。 ㊦曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。 (音楽表現の創意工夫：観察・発表)
5 学習のまとめをする。	・ワークシートにわかったことと感想をまとめる。